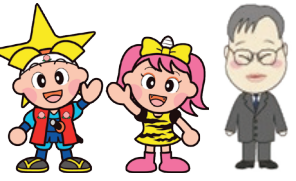


KMSメディカル・アーク 2020 with MTO



特定非営利活動法人
メディカルテクノおかやま
Medical Techno Okayama



川崎医科大学発、医学・医療・福祉
そして健康科学の分野での産学連携活動の活性化を目指して

日時／令和2年2月6日(木) 10:00~17:00

会場／川崎医科大学附属病院 本館8階大講堂
(岡山県倉敷市松島577)

実行委員長／大槻 剛巳 (川崎医科大学 産学連携知的財産管理室 室長)
参加／無料(予約不要) 【アプリでご覧いただけます】

《ご挨拶》

川崎学園、川崎医科大学とメディカルテクノおかやま(MTO)が主催する、KMSメディカル・アーク2020 with MTOは、4回目を迎え、益々盛会になっております。

企業による展示のほか、メディカルスタッフによるニーズや教員が有するシーズが発表されます。展示については、医療機器、加工、福祉、繊維、食品、ITの企業から出展されます。また、川崎学園と包括連携協定を締結している5自治体や、5つの研究団体から、取組事業が紹介されます。

毎回、ランチョン・セミナーの講演は大変好評です。今回は「Sleep Techビジネスの挑戦」について、小林孝徳氏(ニューロスペース社)に講演をお願いしています。睡眠障害に悩む人達のみならず、産学の多くの人達にとっても興味深いテーマです。その他、多彩な催しが予定されております。

多数の皆様方のお越しをお待ちすると共に、産学連携が更に活性化することを願っています。

令和2年1月吉日
川崎医科大学 学長 福永 仁夫

プログラム

◆10:00 開会

- 1) 企業による展示 (持っている技術、作られている製品、研究内容等)
- 2) メディカルスタッフのニーズ・ポスター発表 (医療現場で使っている機器・道具の改良案、作成してほしい機器・道具等)
- 3) 教員シーズ・ポスター発表 (岡山大学、岡山県立大学、就実大学、岡山理科大学、福山大学、川崎医療福祉大学、山陽学園大学、川崎医科大学、津山工業高等専門学校、徳山工業高等専門学校)

◆12:00 学長あいさつ

◆12:05~13:00 Luncheon Seminar

演題：「Sleep Techビジネスが産まれた瞬間、そして社会の仕組みにしていこう挑戦」
講師：小林 孝徳 氏 (代表取締役社長) 株式会社ニューロスペース

◆13:15~13:45

Progress Note (ニーズからのビデオレター)

◆14:00~15:00

Companies Tour (企業ブースを巡るツアーと企業プレゼンテーション)

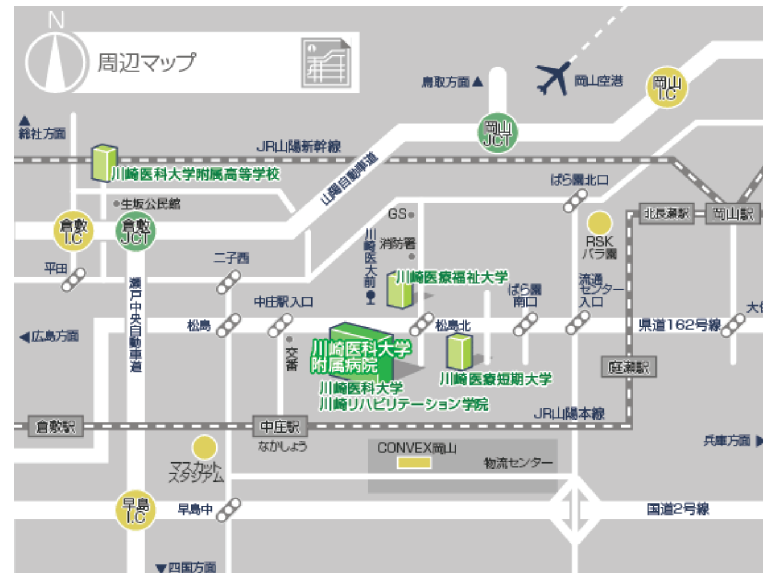
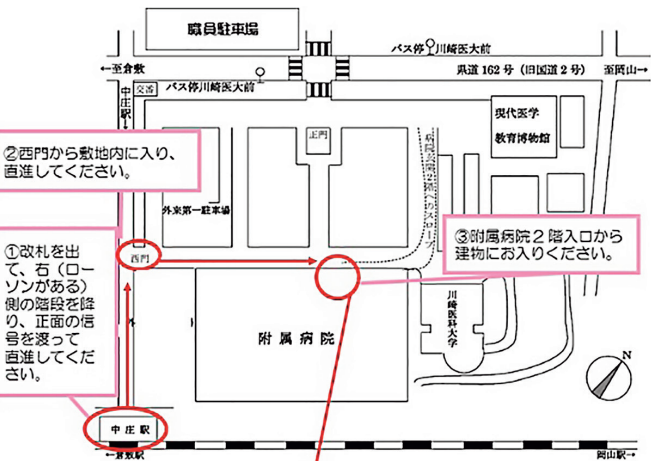
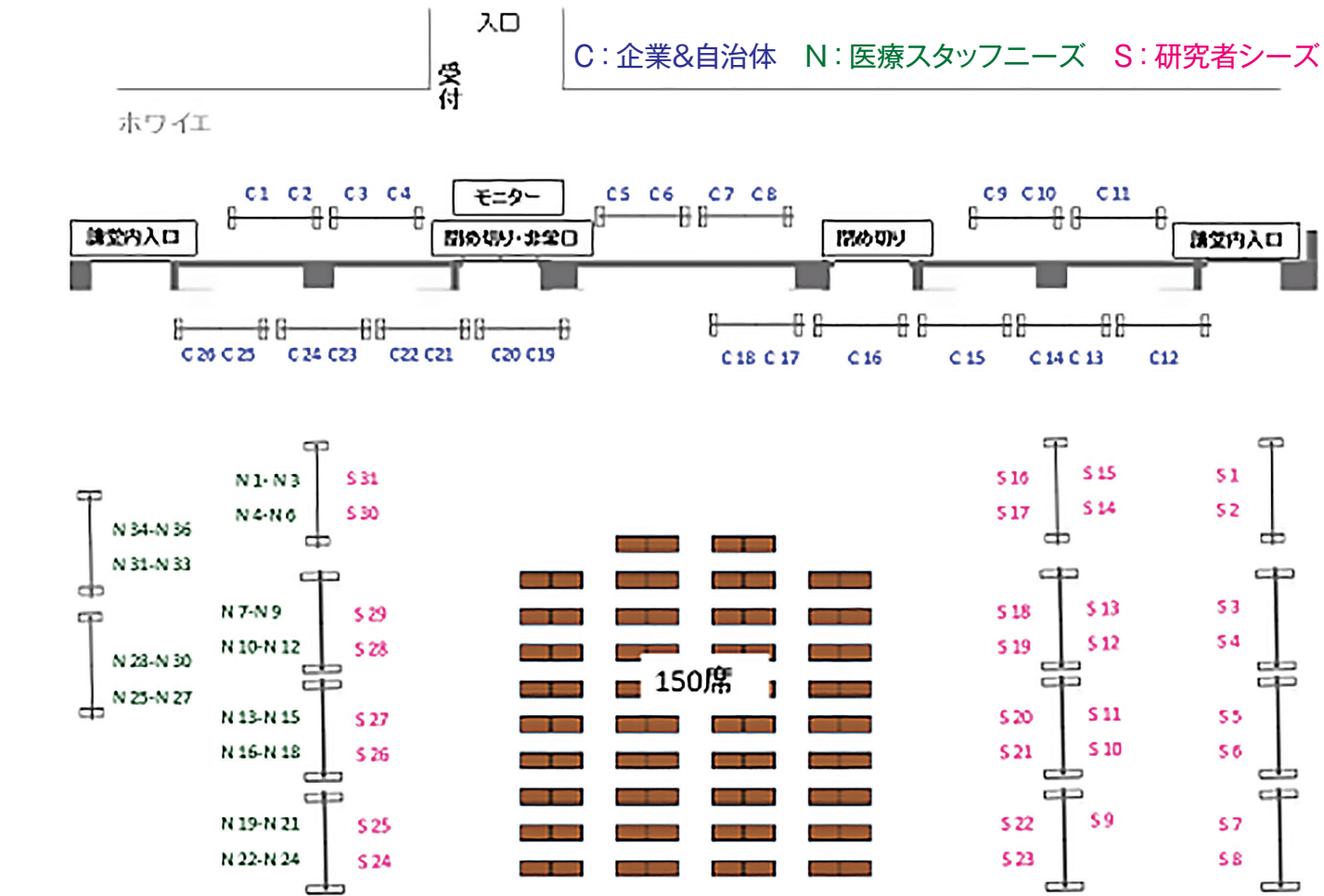
◆15:15~16:25 『Tea-Time Seeds Presentation』(教員研究シーズ口頭発表)

西川 弘太郎(国立高等専門学校機構 津山工業高等専門学校 総合理工学科)、下岡 綜(岡山理科大学 工学部)、近藤 真史(川崎医療福祉大学 医療技術学部)、山川 直樹(就実大学 薬学部)、三浦 靖一郎(国立高等専門学校機構 徳山工業高等専門学校 機械電気工学科)、志摩 亜季保(福山大学 薬学部)、内藤 忠相(川崎医科大学 微生物学) (発表順)

★ランチョン講演★日本だけでも4000万人近い方が何らかの睡眠問題で悩んでいるといわれ、2018年のOECD睡眠時間調査では日本は世界で最も睡眠時間が短い国になってしまいました。睡眠を取り巻くビジネスやソリューションは睡眠薬やCPAPといった医療領域、そして枕や布団といった寝具との二極化しているなかで、根本的かつ本質的な病気になる前に予防できる仕組みができておりませんでした。ニューロスペースは、睡眠の状態を正確かつ簡易的に可視化するテクノロジーと具体的な睡眠改善ノウハウをもとに、国内におけるSleepTechビジネスのゼロイチを実現しANA、KDDI、SHARPなど多くの企業と協業して、社会にSleepTechビジネスを広げ人々の健康を実現し、将来は睡眠を楽しめてデザインできる世界を創出します。本講演では、企業からSleepTechビジネスを生み出した瞬間から、現在に至るまでの挑戦を、コアテクノロジーの紹介とともに話をいたします。

<プロフィール>小林孝徳：新潟大学理学部物理学科卒業、IT企業勤務を経て、2013年に株式会社ニューロスペースを設立、代表取締役社長に就任

- 主 催／学校法人 川崎学園、川崎医科大学、特定非営利活動法人メディカルテクノおかやま
- 共 催／川崎医学会、公益財団法人岡山県産業振興財団、おかやまバイオアクティブ研究会、岡山県医用工学研究会、おかやま生体信号研究会、医療機器開発プロモートおかやま、メディカルネット岡山、山陽技術振興会、中国地域産学官連携コンソーシアム(さんさんコンソ)、岡山リサーチパークインキュベーションセンター
- 後 援／岡山県、岡山市、倉敷市、総社市、備前市、赤磐市、岡山県工業技術センター、倉敷商工会議所、ハートフルビジネスおかやま



電車をご利用の方
JR山陽本線・伯備線：「中庄駅」下車徒歩10分
(中庄駅まで岡山駅から12分、倉敷駅から5分)
※快速「サンライナー」は中庄駅に停車しません。

路線バス(岡電バス、両備バス)をご利用の方
バス停「川崎医大前」下車。岡山駅前バス停から40分、倉敷駅前バス停から20分

お車でお越しの方
外来第二駐車場をご利用ください。
1時間100円、以後1時間毎に100円加算となります。
1日(24時間まで)1,200円です。
ただし、駐車時間が30分以内に限り無料となります。

★問い合わせ先★
川崎医科大学 産学連携知的財産管理室
TEL.086-462-1111 (内線 26043) FAX.086-464-1073 e-mail kms-medical-ark@med.kawasaki-m.ac.jp

企業・自治体

番号	テ ー マ/展 示 物	所 属/企 業 名
C 1	①臨床検査室向けドキュメント管理ソフトウェアDocNet、②セキュリティソフトウェアBlue-Network社 AppGuard(チラシのみ)、③レキオパワーテクノロジー社 教育用小型エコー fSTシリーズ	ライタス株式会社
C 2	内視鏡診断・治療用ガイドワイヤの開発、・膵胆管検査治療用ガイドワイヤ、・膵胆管挿入部(先端)は親水性ポリマーで被覆され、それ以外の基端部はフッ素樹脂で被覆されたガイドワイヤ	株式会社ティーアールエス
C 3	DICOM規格動画をネットワークでプロモーションビデオ・動画対応GateWay	株式会社小沢医科器械
C 4	小児用開口器の開発	オオタ株式会社
C 5	リハビリテーションロボット(MR ROBO)、電子制御歩行アシストプレーキ(MR AFO)	橋本義肢製作株式会社
C 6	①一般的名称:低周波治療器、販売名:電気刺激装置GD-611、認証番号:224AABZX00131000 ②一般的名称:半導体レーザー治療器、販売名:半導体レーザー治療器EL-1000、 認証番号:21800BZX10102000 ③一般的名称:低周波治療器・干渉電流型低周波治療器・超音波治療器組合せ理学療法機器、販売名:コンビネーション治療装置 CT-7 認証番号:227AABZIO0018000	オージー技研株式会社
C 7	医師の手に代わって手術器具を把持できる「カツツェ®」、生体反応を再現した医療用シミュレータモデル「mikoto」シリーズ(映像でのご紹介)"オェツ"とらしくい内視鏡用マウスピース「Gaglessマウスピース」、海外医療デバイスの最新情報をお届けする情報誌「MedicalGlobe」の最新号を展示いたします。	株式会社カワニシホールディングス
C 8	体幹をコントロールできる「H型歩行器」アイルムーヴX	株式会社アイルリンク
C 9	岡山県 企業と大学との共同研究センター紹介ポスター	岡山県企業と大学との共同研究センター
C 10	川崎医科大学附属病院栄養部との共同開発ヘルスケアスイーツ「ココリン」	株式会社サンラヴィアン
C 11	・耐久性消臭抗菌加工EXTRAとその加工製品2〜3点、・防汚・撥水・撥油・洗濯速乾加工と製品2〜3点、耐水性・防災難燃加工とサンプル、防シワ・反発WASH&WEARサンプル	フジックス 有限会社サンライフ
C 12	「岡山市SIBを活用したおかやまケンコー大作戦」、「岡山市AIを活用した健康見える化事業」のご紹介	岡山市
C 13	備前市通所付添サポート事業の取組について	備前市
C 14	おかやまバイオアクティブ研究会の活動について	おかやまバイオアクティブ研究会
C 15	① CLEVAS・BeeTouch: OSCE・シミュレーション教育、実技トレーニング等の映像収録配信システム ② codemari:複雑なAV機器をタブレット端末や声で簡単に操作できるAV制御システム 待合室のTV画面を縮小して映したまま、サイネージ画面を混在できるシステムと、言葉、ゼスチャーに反応するサイネージのデモンストレーション。	株式会社内田洋行 株式会社ナック
C 16	岡山県工業技術センターの概要	岡山県工業技術センター
C 17	①紙おむつ用防臭バッグ デオドバッグ、②使用済み紙おむつ燃料化装置 SFD 燃料サンプル展示	株式会社タイガーマシン製作所
C 18	<在宅医療用酸素濃縮装置> 主に慢性閉塞性肺疾患などで呼吸機能が衰えた患者様が、在宅酸素療法で使用する大流量タイプの特定制守管理医療機器です。	山陽電子工業株式会社
C 19	人工膝関節及び人工股関節の見本品	帝人ナカシマメディカル株式会社
C 20	MT-03(マスクと顔の漏れ率を測る装置)感染対策用…ハイラック350、うつさんぞ・かからんぞう 電動ファン付き呼吸用保護具 (BL321・BL711)	興研株式会社
C 21	生体信号に関わる研究者・技術者の交流・連携の場となるネットワークとして設立された「おかやま生体信号研究会」の活動内容と、大学の研究内容の一部を紹介します。	おかやま生体信号研究会
C 22	ORIC施設紹介ポスター、パンフレットの掲示	岡山リサーチパークインキュベーションセンター (ORIC)
C 23	プラスチック製で使い捨ての安全・清潔な「膿盆」・「嘔吐物処理容器」	立花容器株式会社
C 24	産・学・官の協働事業「食育キャンペーン」	倉敷市
C 25	歩いて獲得!健康づくり	総社市
C 26	赤磐市在宅医療介護連携事業 ～専門職との連携活動の紹介～	赤磐市

研究者シース

番号	テ ー マ	発表者/研究者	大 学	
S 1	AMED次世代医療機器連携拠点整備等事業 オープンイノベーションと事業化推進を目指した医療機器開発中核拠点整備	櫻井 淳	岡山大学	研究推進機構/ 岡山大学病院
S 2	サーモグラフィを用いたバスキュアラークセス描出に関する探索的研究	佐々木 新介	岡山県立大学	保健福祉学部
S 3	アイトラッキング機能を付加した看護コミュニケーション教育支援システム	高林 範子、渡辺 富夫、石井 裕		保健福祉学部、 情報工学部
S 4	視覚障害者が道路横断開始時に利用する歩行方向情報を提供するための触覚手がかりの開発	高戸 仁郎		保健福祉学部
S 5	競いながら覚えられる構造式のUNOカード —有機化合物の構造式を楽しく覚えることができる学習用教材—	★山川 直樹	就実大学	薬学部
S 6	糖化ストレスを抑える生活習慣病改善物質の開発研究	森 秀治		薬学部
S 7	SPME法による「におい」分析とその応用	齋藤 啓太		薬学部
S 8	植物由来成分の抗酸化作用・メラニン合成阻害作用の探索	山崎 勤	川崎医科大学	薬学部
S 9	インフルエンザウイルスゲノムに生じる突然変異部位の網羅的予測システムの開発	★内藤 忠相、齊藤 峰輝		微生物学
S 10	マクロライド系抗菌薬に対する耐性変異の新しい検出法	宮田 一平		小児科学
S 11	肺線維症のメカニズム解明と創薬開発	竹之内 康広	川崎医科大学	薬理学
S 12	活性酸素を活用する生体の「したたか」な一面	宮野 佳		生化学
S 13	社会性昆虫を用いた概日時計による社会的同調機構の解析	守山 禎之		自然科学
S 14	ソフトアクチュエータを用いた肩関節用リハビリテーション機器の開発	★下岡 綜	岡山理科大学	工学部
S 15	水圧駆動システムのリハビリテーション機器への応用	小林 亘		工学部
S 16	脳卒中に関わる細胞接着分子クローデインの発現調節法の開発を目指して	★志摩 亜季保	福山大学	薬学部
S 17	腸内細菌叢の変化を介した漢方薬の有用性解明に向けて	高山 健人		薬学部
S 18	Styrene-maleic acid copolymerを用いたamphotericin B製剤の開発	番匠谷 研吾		薬学部
S 19	ヒト初代培養肝細胞を用いた in vitro 脂肪肝モデルに対する大豆抽出物による改善効果	瀬尾 誠	薬学部	

研究者シース

番号	テ ー マ	発表者/研究者	大 学	
S 20	ハードウェア化を前提とした画像幾何学補正の高速化・高精度化—防犯・見守りシステムへの応用—	★近藤 真史	川崎医療福祉大学	医療技術学部
S 21	運動習慣による腸内細菌叢の変化を介した健康効果に関して	矢野 博巳		医療技術学部
S 22	車椅子の車軸位置の調整が片足駆動に及ぼす影響	藤田 大介		リハビリテーション学部
S 23	運動後のリカバリーを促進する栄養成分の探索	神崎 圭太		医療技術学部
S 24	切断後の方のソックス	那須 明美	山陽学園大学	看護学部
S 25	音が拡大されて聞こえる聴診器	那須 明美		看護学部
S 26	フルードパワーを利用した無動力義手	★西川 弘太郎	独立行政法人 国立高等専門学校機構 津山工業高等専門学校	総合理工学科
S 27	介護者のための腰支援システムの改良	趙 菲菲		総合理工学科
S 28	視覚障碍児のための歩行訓練システムの開発	趙 菲菲	独立行政法人 国立高等専門学校機構 徳山工業高等専門学校	総合理工学科
S 29	障害者就労からはじめる地域連携～地域共生エコシステムの形成に向けて～	★三浦 靖一郎、 谷本 圭司、大西 祥作		機械電気工学科
S 30	電子ブロックを用いた支援技術教育	谷本 圭司、三浦 靖一郎、 大西 祥作		機械電気工学科
S 31	足マウス・足キーボードの開発	藤本 浩		機械電気工学科

医療現場ニーズ

番号	テ ー マ	発表者	所 属	所 属 部 署
N 1	床面の高さが調整可能な薄型電動昇降台	荒木 俊介	川崎医科大学 附属病院	感覚器センター 眼科
N 2	リハビリもできるハンドカバー	木村 純代		看護部
N 3	漏れ防止用折り返し付きアンダーパッド	豊島 智美、阿部 由美、 北野 久美子		
N 4	カプセルスタンド	阿部 由美、北野 久美子		
N 5	伸縮可能な胃管	北野 久美子、 聖隷三方原病院：佐藤 昌子		
N 6	胃管に取り付け可能な胃液感知装置	北野久美子		
N 7	かわいい医療用マスキングテープ	北野久美子		
N 8	カンファレンス集議通知ソフト	北野久美子		
N 9	下部内視鏡検査前における前処置時の便の自動撮影システム	山田 光樹		
N 10	より小型化、低コスト化を目指した I C タグを利用したME機器の所在把握システム	山田 光樹		
N 11	大腸内視鏡検査・処置時に活用できる足台	宗近 優美子		
N 12	ご飯計量器	岡本 和之		
N 13	全自動粥盛付機	栄養部の皆さん		
N 14	全自動フードカッター	栄養部の皆さん		
N 15	厨房用ルンバ（ミニポリシャー付）	栄養部の皆さん		
N 16	臨床検査室の国際規格ISO15189に準じた試薬管理システム	大久保 学		中央検査部
N 17	輸液内混注用のインスリン専用注射器	二宮 洋子	薬剤部	
N 18	スマートフォン・タブレット端末でバイタル測定	犬飼 容子	治験・先進医療センター	
N 19	VRを用いたドライブシミュレーター	小川 隆	リハビリテーション センター	
N 20	膝装具 完全伸展から任意の屈曲角度までワイヤーで可動域を調節可能なもの	小川 隆、河島 隆貴		
N 21	長下肢装具 ワンタッチで長さ調節が可能なもの	小川 隆、河島 隆貴		
N 22	嚥下障害の患者の食事意欲を呼び起こす食品	淀川 理恵、宮崎 彰子 中村 克哉、 山陽学園大学：那須 明美		
N 23	リールコンセント輸液ポンプ・シリンジポンプ	山本 省吾	川崎医科大学 総合医療センター	看護部
N 24	3Pプラグの接地端子折れ対策	西江 和夫		MEセンター
N 25	放射線治療用補助具グリップリングの改良	元田 興博	川崎医科大学 総合医療センター	中央放射線部
N 26	放射線治療用補助具ウイングボードの改良	元田 興博		
N 27	体幹部高精度治療用腹部圧迫補助具	鐵原 滋		
N 28	もう少し小さいサイズのバイトブロック	鐵原 滋		
N 29	死角を減らすアラウンドビューモニター	山田 誠一		
N 30	治療台 枕元のマイクとスピーカー	山田 誠一		
N 31	プラス1 モニタシステム	山田 誠一		
N 32	精密機器の衝突回避ソナー	山田 誠一		
N 33	白く殺風景な天井を気持ち良いものに	山田 誠一		
N 34	体位の角度をすばやく微調整するマット	山田 誠一		
N 35	頭部治療のセットアップを正確かつ迅速に行う装置	山田 誠一		
N 36	診察で用いるライナックの模型製作	山田 誠一		